



天文台だより

銀河の森天文台
2016 夏号
Vol. 72

7月9日(土)、第8回スターライトフェスティバル開催!



金星探査機「あかつき」プロジェクトマネージャ 中村正人JAXA教授

2016年7月9日(土)に第8回スターライトフェスティバルを開催します。

フェスティバルでは、JAXA中村正人教授の講演会「世界の金星探査と日本の挑戦」及びアンサンブルグループ「奏楽(そら)」によるミニコンサートを開催します。

中村正人先生は、日本が打ち上げた金星探査機「あかつき」のプロジェクトマネージャ(衛星主任)として、衛星運用の指揮を執っている方で、今まさに観測が始まった「あかつき」についてのお話を聞くことができます。

ミニコンサートでは、札幌交響楽団首席オーボエ奏者岩崎弘昌氏が結成した「奏楽」によるクラシックコンサートが開催されます。是非、ご来館下さい。



アンサンブルグループ「奏楽(そら)」

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

今年の7月講演会は、私のベスト友人の一人、「あかつき」の責任者中村正人教授による「世界の金星探査と日本の挑戦」です。6年前の打上げ以来、金星周回軌道への投入失敗(2010.12)、その5年後の再投入トライと続く軌道修正に成功(それぞれ2015.12、2016.4)というユニークな運命を辿った、重量500kgの惑星探査機。昨年12月の周回軌道投入成功の直後、陸別での講演会実施を申し入れ、快諾を得ていました。



(上出洋介館長)

金星といえば、地球になじみの深い惑星です。単に軌道が近いだけでなく、大きさも似ており、地球の姉妹惑星とも言われます。しかし、大気組成、表面温度、大気圧、自転の向きなどはまるで違います。そして、謎の秒速100mに及ぶスーパーローテーション。中村教授が率いるサイエンスチームには、NASAやESAができなかった、教科書を書き換えるほどの発見への大きな期待がかかっています。

第8回陸別スターライトフェスティバル

開催日時: 7月9日(土) 14時~24時

参加方法: 予約不要(入館料のみ)

※ 陸別町民は入館料無料です!

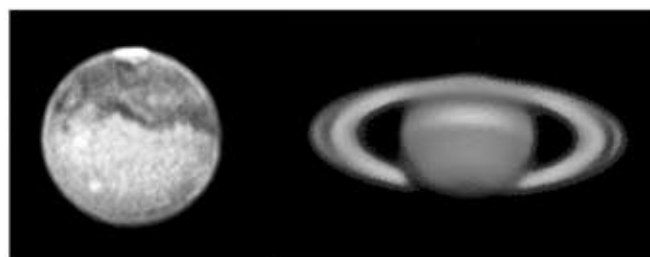
プログラム

- 19:00 開催挨拶
講演会
中村正人JAXA教授
演題:「世界の金星探査と日本の挑戦」
- 20:30 ミニコンサート
アンサンブルグループ「奏楽(そら)」
「星空に響くアンサンブルの調べ」
オーボエ:岩崎弘昌、ピアノ:前田朋子
ヴァイオリン:小林佳奈
- 24:00 閉館

※ 天体観望会は常時開催しています

夏は火星・土星が見頃です!

今年は、火星が5月31日に地球に最接近し、さそり座~てんびん座、土星がへびつかい座の中にあります。火星・土星は8月下旬ぐらいまで見頃となります。



暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
7月 1日	3:44	19:14	26.0	1:05	15:28
7月 15日	3:54	19:08	10.7	14:36	0:22
8月 1日	4:11	18:51	27.7	2:21	17:21
8月 15日	4:26	18:32	12.3	15:59	1:05
9月 1日	4:45	18:04	29.3	4:19	17:56
9月 15日	5:01	17:39	13.7	16:40	2:52

天文行事&暦

7月

- 4 ●新月
- 7 小暑(24節気:太陽黄経105°)
- 9 陸別スターライトフェスティバル
- 20 ○満月
- 22 大暑(24節気:太陽黄経120°)
- 27-8/7 天の川と火星・土星観望会

8月

- 7/27-8/7 天の川と火星・土星観望会
- 3 ●新月
- 7 立秋(24節気:太陽黄経135°)
- 11, 12 ペルセウス座流星群観望会
- 12 ペルセウス座流星群が極大
(PM9時 最大60個/時)
- 15, 16 天文台特別開館
- 13-21 火星・アンタレス観望会
- 17 水星が東方最大離角
(光度:0.3等, 離角:27°.4)
- 18 ○満月
- 23 処暑(24節気:太陽黄経150°)

9月

- 1 ●新月
- 3 海王星が衝(7.8等, 視直径2".4)
- 7 白露(24節気:太陽黄経165°)
- 14, 15 名月観望会
- 15 中秋の名月
- 17 ○満月
- 22 秋分(24節気:太陽黄経180°)
- 29 水星が西方最大離角
(光度:-0.5等, 離角:17°.9)

夏のイベント情報 !!

☆天の川と火星・土星観望会

天の川周辺にはたくさんの星団・星雲があり、天の川が良く見えるこの時期に観望会を開催します。今年は、天の川の側には火星・土星もあり、望遠鏡では火星の模様や土星の輪も楽しめます。

開催日時: 7月27日(水)~8月7日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆ペルセウス座流星群観望会

ペルセウス座流星群が8月12日の午後9時に極大時刻を迎え、これを前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時: 8月11日(木)、12日(金)

説明会: 午後7時30分から

☆火星・アンタレス観望会

この時期、火星とさそり座のアンタレスが並んで見えています。火星とアンタレスにまつわるお話を聞きつつ、二つの赤星を見比べてみてください。

開催日時: 8月13日(土)~21日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆名月観望会

今年の中秋の名月は、9月15日です。15cm大型双眼鏡で見る「月」は格別です。デジタルカメラや携帯カメラで簡単に月面を撮影できます。ぜひ、ご来館下さい。

開催日時: 9月14日(水)、15日(木)

説明会: 午後7時30分から

拝啓、天文台よりー「トラツグミ」ー

銀河の森の新緑も深まり、夜には星空の下、トラツグミの鳴き声が聞こえてくるようになりました。ヒー、という美しい音色ですが、昔は、鶴(めえ)の声として恐れられていたそう。鶴は、顔が猿、手足は虎、体は狸、尾は蛇、声はトラツグミ、そんな妖怪ともいわれます。確かに、暗闇に響くさえずりは、さびしげな悲鳴のように聞こえ、正体が分からなければ不気味に感じるかもしれません。ほんもののトラツグミの写真を探すと、かわいらしい姿を知ることができました。(守)

ペッコカめぐり「ペッコカめぐり」

ペッコカ(天の川)めぐりと言って最初に思い浮かぶのは、宮澤賢治の代表作のひとつ『銀河鉄道の夜』ではないでしょうか。北十字から南十字へと旅をするこの童話は、途中にアルビレオやアンタレスなど天の川に沿って実在する天体たちが登場します。陸別から見える天の川はまだ旅の途中のさそり座付近までですが、『銀河鉄道の夜』を思い浮かべながら、はるか南の南十字座へと続く天の川を想像してみてもいいでしょうか?(中)



天文台からのお知らせ

☆ 8月15日・16日は、月・火曜日ですが、特別開館いたします。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp